

2023年度 国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	2	年次／コース	高校1年生／特進
使用教科書	東京書籍『精選現代の国語』						
副教材など	尚文出版『基礎現代文1+』、桐原書店『新版完全征服 入試漢字コア2800改訂版』 京都書房『新訂 国語図説 五訂版(デジタル)』						

1. 学習の到達目標

<p>●科目について</p> <p>実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>●コンピテンシーについて</p> <p>実社会に通ずる「読む」「話す・聞く」「書く」能力を身に着けるべく、授業内でも生徒同士が協働して思考・表現する機会を設ける。また、既習知識を応用する機会を設けることで思考の深化に役立てていく。授業の中にリフレクションの時間を設け、本時の内容を定着させる。</p>

2. 学習方法について

<p>●授業中において</p> <p>特進コースの授業では、バランスの取れた国語力の育成を重視します。授業は予習や準備を前提として進めます。クラス全体の学びを最大化させるためにも、必ず期限までに完了させてください。また、文章を「読む」力だけでなく、「話す・聞く」「書く」力を養うことが目標となります。週1回の漢字テストを実施します。</p> <p>●家庭学習において</p> <p>授業担当者から課せられた授業単元の予習を行ってから授業に参加してください。また、授業時間内に行われる漢字テスト等の小テストに備えて知識習得のための学習を行ってください。授業後には本時で得た知識をもとに応用問題に取り組むことや単元の復習の時間を設けるなどしてください。</p>
--

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 話し言葉と書き言葉の特徴を踏まえ、表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 常用漢字を読み書きでき、文や文章の中で使うことができる。『新版完全征服 入試漢字コア2800改訂版』第1章～第2章を扱う。 実社会において必要な語句の量を増すとともに、話 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場に応じて、情報を収集、整理することができる。 自分の考えが的確に伝わるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、話・文章の構成や展開、表現を工夫することができる。 話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを深めることができる。 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、 	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

	<p>や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。 情報同士の関係（主張と論拠、個別と一般）や情報の扱い方（推論、妥当性や信頼性の吟味、引用の仕方、出典の示し方）について理解を深め使うことができる。 <p>実社会との関わりを考えるために読書の意義と効用について理解を深めている。</p>	<p>話し合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を、相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりすることができる。 	
評価方法	<p>【成果物】〈 〉は略</p> <p>パフォーマンス課題〈パ〉、授業・家庭学習の成果〈成〉</p> <p>リフレクション〈リ〉、予習（読解シート）〈予〉、単元テスト〈単〉、小テスト〈小〉</p> <p>【ペーパーテスト】</p> <p>定期考査〈考〉</p>	<p>【成果物】</p> <p>〈パ〉、〈成〉、〈リ〉、〈予〉、〈単〉、〈小〉</p> <p>【ペーパーテスト】</p> <p>〈考〉</p>	<p>【成果物】</p> <p>〈パ〉、〈成〉、〈リ〉</p>
<p>上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。</p>			

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1	【読】 評論の読み方 内田樹「届く言葉」 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> 第1回の授業でガイダンスを行う。 対比的に用いられている言葉の意味を押しえながら本文の内容を理解する。 評論の読み方のポイントを押しえらる。 	○	○	○	<p>A:本文中の語句に関して正しく理解し、使いこなすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の漢字の読み書きができる。 本文中の語句・語彙の意味、用法を理解し使うことができる。 指示語や接続関係を正しく読み取ることができる。 主張と論拠や具体例など情報の種類について理解している。 <p>B:文章の構成や論理の展開を踏まえて論旨を正しく理解して考察を深めている。</p>	<p>〈成〉</p> <p>〈予〉</p> <p>〈リ〉</p> <p>〈単〉</p> <p>〈小〉</p>

				<p>・『はやぶさ』プロジェクトの説明のうまさや「内向きの言葉」と「外に向かう言葉」、「届く言葉」について読み取り、要旨・要点を把握している。</p> <p>C：粘り強く評論の文章構造や対比関係を捉え、学習課題に沿って評論の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持つようとしている。</p>	
<p>【話・聞】 分かりやすい説明をする (2時間)</p>	<p>・「分かりやすい説明」のポイントを考える。</p> <p>・「説明内容を整理する手順」に従って内容説明を整理し、それを基に、ロールプレーを行う。</p>	○	○	<p>A：話し言葉と書き言葉の特徴を踏まえ、表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>・実社会において必要な語句の量を増やすとともに、話や文章の中で適切な語句を選択することができる。</p> <p>B：自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>・「リストアップ」「カテゴライズ」「ナンバリング」等の技法を用いて工夫している。</p> <p>C：積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。</p>	<p>〈成〉</p> <p>〈バ〉</p> <p>〈リ〉</p> <p>〈小〉</p>
<p>【書】 手順を整理して正確に伝える (2時間)</p>	<p>・手順書の作り方を理解し、どのような形式で手順書を作るか考える。</p> <p>・読み手を想定して表現を工夫しながら、手順書を作成する。</p> <p>・グループで助言しあい、手順書を修正する。</p>	○	○	<p>A：語句や漢字を文章中で正しく使うことができる。</p> <p>・常用漢字を正しく書くことができる。</p> <p>・語句の意味を正しく理解し、適切な語句を選択している。</p> <p>B：自分の考えが的確に伝わるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、話・文章の構成や展開、表現を工夫することができる。</p> <p>・目的や意図に応じて書かれているかを確認して、文章全体を整えたり、読み手からの助言を踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p>C：積極的に手順書の特徴を理解し、学習課題に沿って整理した情報を正確に伝えられるようにまとめようとしている。</p>	
<p>【読】 今ここにある無数の未知 (3時間)</p>	<p>・評論文の構成を理解する。</p> <p>・評論文の論旨を把握する。</p>	○	○	<p>A：本文中の語句に関して正しく理解し、使いこなすことができる。</p> <p>・本文中の漢字の読み書きができる。</p> <p>・本文中の語句・語彙の意味、用法を理解し使うことができる。</p> <p>・指示語や接続関係を正しく読み取ることができる。</p> <p>B：文章の構成や論理の展開を踏まえて論旨を正しく理解して考察を深めている。</p> <p>・筆者の述べる「未知」や「旅」の内容について読み取り、要旨・要点を把握している。</p>	<p>〈成〉</p> <p>〈予〉</p> <p>〈リ〉</p> <p>〈単〉</p> <p>〈小〉</p>

					C: 粘り強く評論の文章構造や対比関係を捉え、学習課題に沿って評論の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持つようとしている。	
一学期 中間考査					主に「届く言葉」「今ここにある無数の未知」を中心に出題。	
【読】 山崎正和 「水の東西」 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> 予習で読み取った内容を読解シートにまとめる。 対比されている語句・内容を整理しながら読解する。 	○	○	○	<p>A: 本文中の常用漢字の読み書きができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の語句・語彙の意味、用法を理解し使うことができる。 文章の組み立て方や接続の仕方を理解している。 <p>B: 「鹿おどし」と「噴水」の違い、西洋文化と比較された日本文化の特徴などを読み取り、要旨・要点を把握している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や論理の展開などについて評価するとともに、自分の考えを深めている。 <p>C: 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を深めようとしている。</p>	<p>〈成〉</p> <p>〈バ〉</p> <p>〈予〉</p> <p>〈リ〉</p> <p>〈考〉</p> <p>〈小〉</p>
【読】 発想を広げて課題を見つける (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> 思考・発想を広げる方法を確認する。 題材を決め、ブレインストーミング、グルーピング、関連づけを行う。 五分程度のスピーチとしてまとめる。 		○	○	<p>A: 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>B: 目的や場に応じて、情報を収集、整理することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫している。 <p>C: 進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をしようとしている。</p>	<p>〈成〉</p> <p>〈バ〉</p> <p>〈リ〉</p> <p>〈小〉</p>
【読】 今井むつみ 「言葉は世界を切り分ける」 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> 予習で読み取った内容を読解シートにまとめる。 具体例と筆者の主張の関係を押さえながら本文を読解する。 言葉の働きについて、筆者の主張を踏まえて、考えをまとめる。 	○	○	○	<p>A: 本文中の常用漢字の読み書きができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の語句・語彙の意味、用法を理解し使うことができる。 文章の組み立て方や接続の仕方を理解している。 <p>B: 外国語でコミュニケーションをとることの難しさや言葉の『面』としての意味、異なる言語が世界を異なる仕方で分節することについて読み取り、要旨・要点をまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や論理の展開などについて評価するとともに、自分の考えを深めている。 <p>C: 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿</p>	<p>〈成〉</p> <p>〈バ〉</p> <p>〈予〉</p> <p>〈リ〉</p> <p>〈考〉</p> <p>〈小〉</p>

					って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。	
	一学期期末 考査				主に「水の東西」「言葉は世界を切り分ける」より出題。	
2	【話・聞】 本を紹介する (3時間)	・夏期課題で一冊、本を読んでおく。 ・選んだ本を班の中で紹介しあい、班として紹介する本を決める。 ・クラス全体に、班として本を紹介する。		○ ○	A：話し言葉と書き言葉の特徴を踏まえ、表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 ・実社会において必要な語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 B：自分の考えが的確に伝わるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、話・文章の構成や展開、表現を工夫することができる。 C：積極的にお薦めの本を挙げ、学習課題に沿って紹介の準備をし、本を紹介する活動をしようとしている。	〈成〉 〈バ〉 〈リ〉 〈小〉
	【読】 山崎亮 「まちの豊かさとは何か」 (3時間)	・評論文の構成を理解する。 ・評論文の論旨を把握する。	○ ○ ○		A：本文中の語句に関して正しく理解し、使いこなすことができる。 ・本文中の漢字の読み書きができる。 ・本文中の語句・語彙の意味、用法を理解し使うことができる。 ・指示語や接続関係を正しく読み取ることができる。 B：文章の構成や論理の展開を踏まえて論旨を正しく理解して考察を深めている。 ・筆者の述べる「コミュニティ」の役割や「豊かさ」の内容について読み取り、要旨・要点を把握している。 C：粘り強く評論の文章構造や対比関係を捉え、学習課題に沿って評論の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持つようとしている。	
	【読】 内山節 「時間と自由の関係について」 (4時間)	・予習で読み取った内容を読解シートにまとめる。 ・対比されている内容を整理しながら読解する。 ・意味段落に分けて全体の構成と展開を把握する。	○ ○ ○		A：本文中の常用漢字の読み書きができる。 ・本文中の語句・語彙の意味、用法を理解し使うことができる。 ・文章の組み立て方や接続の仕方を理解している。 ・文章の修辞や直接的・婉曲的表現について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。 B：現代の「時計に支配された世界としての学校」とかつての「時計のない学校」との違いや、「外部化された時	〈成〉 〈予〉 〈リ〉 〈単〉 〈小〉

				間」、人間の自由と時間との関係について読み取り、要旨・要点を把握することができる。 C：粘り強く二種類の「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。	
二学期 中間考査				「まちの豊かさとは何か」「時間と自由の関係について」を中心に出題。	
【読】 鷲田清一 「真の自立 とは」 (3時間)	・予習で読み取った内容を読解シートにまとめる。 ・二つの意味段落の内容を押さえながら本文を読解する。 ・筆者の主張を踏まえて意見文を書く。	○	○	○ A：本文中の常用漢字の読み書きができる。 ・本文中の語句・語彙の意味、用法を理解し使うことができる。 ・文章の組み立て方や接続の仕方を理解している。 B：現代社会における「できる」「できない」の構造とそれが人生に及ぼす影響や、筆者の主張する「自立」について読み取り、要旨・要点をまとめることができる ・文章の構成や論理の展開などについて評価するとともに、自分の考えを深めている。 C：積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめようとしている。	〈成〉 〈バ〉 〈予〉 〈リ〉 〈考〉 〈小〉
【読】 松井彰彦 「自立と市場」 (2時間)	・予習で読み取った内容を読解シートにまとめる。 ・比喻や具体例に注意して内容を読み取る。	○	○	○ A：本文中の常用漢字の読み書きができる。 ・本文中の語句・語彙の意味、用法を理解し使うことができる。 ・文章の組み立て方や接続の仕方を理解している。 B：筆者の考える「自立」と「市場」の関係や「市場」の評価すべき点と注意すべき点について読み取り、要旨・要点をまとめることができる。 ・文章の構成や論理の展開などについて評価するとともに、自分の考えを深めている。 C：積極的に「自立」と、その対極である「依存」について筆者の考えを読み取り、理解を深め、学習課題に沿って実社会における「市場」の評価すべき点と注意すべき点をまとめようとしている。	

<p>文章を読み比べるために</p> <p>【書】</p> <p>異なる文章を読み比べて自分の意見を書く (3時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み比べて自分の意見を書く方法を理解する。 ・「真の自立とは」「自立と市場」の読解内容を踏まえて、構成を考え、意見文を作成する。 	○	○	<p>○</p> <p>A：文章の組み立て方や接続の仕方を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>B：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが的確に伝わるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、話・文章の構成や展開、表現を工夫することができる。 <p>C：積極的にテーマに沿った本を探し、学習の見通しをもって異なる主張の文章を読み比べ、自分の考えが読み手に伝わるように意見文としてまとめようとしている。</p>	<p>〈成〉</p> <p>〈バ〉</p> <p>〈リ〉</p> <p>〈小〉</p>
<p>【話・聞】</p> <p>情報を整理しながら話し合う (2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの種類を確認する。 ・テーマを選び、グループで話し合いの進め方を確認する。 ・話し合いを実践し、振り返りを行う。 	○	○	<p>○</p> <p>A：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>B：論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 <p>C：積極的に「企画会議」の進め方に沿って論点を共有し、学習の見通しをもって提案内容を整理しながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。</p>	
<p>二学期 期末考査</p>				<p>「真の自立とは」「自立と市場」を中心に出题。</p>	

3	<p>【読】 松田雄馬 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」 (3時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予習で読み取った内容を読解シートにまとめる。 ・人工知能と人間の比較を整理しながら内容を読解する。 	○	○	○	<p>A：本文中の常用漢字の読み書きができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の語句・語彙の意味、用法を理解し使うことができる。 ・文章の組み立て方や接続の仕方を理解している。 <p>B：「特徴を表現するという方法」に欠けている「重要な視点」の内容や、「『自らの人生を生きる』という行為」は、「人間や生物にのみ許された行為である」と筆者が考える理由について読み取り、要旨・要点をまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や論理の展開などについて評価するとともに、自分の考えを深めている。 <p>C：粘り強く筆者が説く人間と人工知能の比較について理解し、今までの学習を生かして筆者が考える「自分の人生を生きる」行為について読み取り、自分の考えを深めようとしている。</p>	<p>〈成〉 〈バ〉 〈予〉 〈リ〉 〈考〉 〈小〉</p>
	<p>【読】 原研哉 「白」 (3時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予習で読み取った内容を読解シートにまとめる。 ・筆者独自の表現に注意しながら、「白」に表される、情報に対する意識についての筆者の考えを読み取る。 ・本文を踏まえ、インターネット時代の感受性について意見文を書く。 	○	○	○	<p>A：本文中の常用漢字の読み書きができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の語句・語彙の意味、用法を理解し使うことができる。 ・文章の組み立て方や接続の仕方を理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>B：「白という感受性」や「新たな知の基準」、『徒然草』の例によって示された「白」の持つ意味について読み取り、要旨・要点をまとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や論理の展開などについて評価するとともに、自分の考えを深めている。 <p>C：積極的に筆者の示す「白」について理解を深め、今までの学習を生かして「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめようとしている。</p>	
	<p>【書】 論証してレポートを書く (4時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの書き方を理解する。 ・テーマを選択し、予備調査を行う。 ・問いをたてる、仮説をたてるなど手順を踏んでレポートを作成する。 	○	○		<p>A：文章の組み立て方や接続の仕方を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の組み立て方や接続の仕方を理解している。 ・推論の仕方を理解し、使っている。 <p>B：自分の考えが的確に伝わるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、話・文章の構成や展開、表現を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 <p>C：進んでテーマに関することを調べて問いを立て、学</p>	<p>〈成〉 〈バ〉 〈予〉 〈リ〉 〈小〉</p>

					習の見通しをもって論点を整理し、論証を行ってレポートを書く活動をしようとしている。	
学年末考査					主に「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」「白」から出題。	